



多彩な講師を迎えて
楽しみながら学び、知る喜び
あなたの人生に彩りを添えてくれます。

理事長・学長 久保 千春 (中村学園大学学長
前 九州大学総長)

九州市民大学の特徴

非営利性

九州市民大学は、営利を目的とせず、生涯学習の場として市民文化の向上と地域社会における豊かな文化の創造に寄与したいと願っています。

中立性

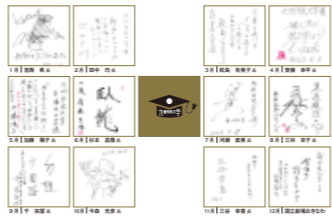
九州市民大学は、特定の政治・宗教活動を一切行いません。また、講師陣も一方に偏ることがないように細心の注意を払っています。

市民中心主義

九州市民大学の受講生は、市民個人が自己負担で自主的に入学し、性別、年齢、学歴にとらわれず楽しく学びながら一般教養・知識を高めることを目的としています。

自主運営

九州市民大学を運営するための財源は、受講生からの受講料収入によっており、行政や特定の業界・企業などには依存していません。また、各種事業は役員・運営委員の自発的・自主的の参画によるボランティアによって運営されています。



● 年10回以上出席の方で、ご希望の方には九州市民大学の修了証書をお渡しします。本年度講演会の記録として、講師の先生方からいただいた色紙を刷り込んでいます。

募集要項

募集人数 / 昼の部: 1,800人 夜の部: 1,800人 (定員になり次第、締め切らせていただきます。)

会期 / 2025年1月~12月 毎月1回

時間 / 昼の部 午後2時30分~午後4時 夜の部 午後6時~午後7時30分

会場 / アクロス福岡・福岡シンフォニーホール (福岡市中央区天神1丁目1-1)

年間受講料 / 《昼の部》個人 1人 25,000円 夫婦・家族 1人 23,000円 (同居家族に限る)

《夜の部》個人 1人 23,000円 夫婦・家族 1人 21,000円 (同居家族に限る)

ご注意 / 昼の部 受講生は、夜の部 講座にご自由に振替受講ができます。

夜の部 受講生は、昼の部 講座への振替受講は、座席に余裕がないためできません。

お申込み方法

ホームページでのお申込み
<http://www.kyucc.com/boshu/>



お電話でのお申込み (平日10:00~15:00)
092-714-0066

FAXでのお申込み
092-714-6045

新入会員紹介の方へお礼をいたします

新入会員を紹介していただいた今年度の受講生には、1名につき2,000円の謝礼を後日差し上げます。
(入会期限は2025年3月まで)

※家族割引との併用はありません。

[後援] 福岡県

お問い合わせ 一般社団法人 **九州市民大学 事務局** TEL 092-714-0066

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1-1 アクロス福岡 西館10階 FAX 092-714-6045 九州市民大学 検索



1/16 (木)

講師
一龍 斎 貞鏡



2/15 (土)

脳科学者
恩蔵 絢子



3/15 (土)

玉川 徹



12/9 (火)

太鼓奏者
林 英哲



11/11 (火)

古生物学者
北海道大学総合博物館教授
小林 快次



10/7 (火)

NHK交響楽団
特別コンサートマスター
篠崎 史紀



9/12 (金)

作家
角田 光代



九州市民大学
KYUSHU CITIZENS' COLLEGE

2025年

知るは喜び 学ぶは楽し
受講生募集

4/13 (日)

東京大学先端科学
技術研究センター准教授
小泉 悠



5/15 (木)

科学ジャーナリスト
(同志社大学 特別客員教授)
元村 有希子



6/14 (土)

順天堂大学
スポーツ科学科教授
谷本 道哉



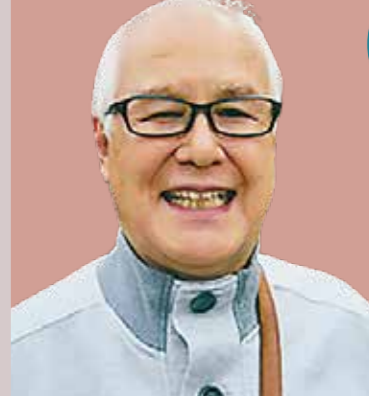
8/7 (木)

小泉八雲朗読のしらべ
講演 小泉 凡
朗読 佐野 史郎
音楽 山本 恭司



7/15 (火)

作家
帚木 蓬生



この講師のココが面白い！

九州市民大学では毎年、講師選定に議論を尽くします。ここ一番の聴きどころをご紹介します。

※講師・講演日は講師の都合などにより、やむをえず変更になることがあります。

1/16
(木)

講談師
一龍齋 貞鏡

新春
七代目一龍齋貞鏡 講談会

世襲制にとらわれない講談界において初の三代続いで講談師。真打昇進から2年目と日は浅いが、その活躍ぶりは異色だ。世話講談など古典演目のほか、ピアノを弾きながらのピアノ講談、お子様向けの紙芝居講談、全国各地にまつわる講談など、新たな挑戦も怠らない。講談ならではの「読み・聞かせる」芸は、七五調を取り入れた朗々と流れるような説明口調が心地よく、醍醐味でもある。

5/15
(木)

科学ジャーナリスト
(同志社大学 特別客員教授)
元村 有希子

心によりそう科学

北九州出身。九州大学卒業後、毎日新聞入社。西部本社在籍だったので、福岡にも知り合いが多く人脈も広い。2006年「理系白書」の報道で第1回科学ジャーナリスト大賞受賞。日曜朝のTBS「サンデーモーニング」のコメントでもおなじみ。2024年3月に毎日新聞社を退社、4月から同志社大学特別客員教授に。専門は科学コミュニケーション。

9/12
(金)

作家
角田 光代

私たちになぜ物語が必要なのか

若くして文壇デビューを果たすと立て続けに芥川賞の候補にのぼり、2005年「対岸の彼女」で直木賞を受賞。上質な作品を次々と発表して文学賞を総なめにした。池澤夏樹編集「日本文学全集」の源氏物語の現代語訳を依頼されると足掛け4年没頭し、疾走感のある訳が評価されて読売文学賞を受賞した。紫式部に始まる愛の物語を基軸とする日本文学の、まさに正しき系譜の作家なのである。

2/15
(土)

脳科学者
恩蔵 絢子

脳科学から見た認知症

同居する母親が2015年にアルツハイマー型認知症と診断され、以来、娘として生活の中で表れる認知症の症状に向き合う。母親を脳科学者として客観的に分析することで、医者／患者、科学者／被験者という立場で研究するのは違った認知症の理解を持つに至り、情報発信する。著書に『脳科学者の母が、認知症になる』。重度認知症のある人の豊かな感情、高齢者の創造性に強く関心を持つ。

6/14
(土)

順天堂大学
スポーツ科学科 教授
谷本 道哉

人生110年時代を目指す
裏切らない体づくり

NHK「みんなで筋肉体操」などでおなじみの見事なボディは、知性と筋肉の融合体。大阪大学工学部を卒業後、運動生理学を学びたいと働きながら猛勉強し、東京大学大学院へ。博士号を取得。関節にやさしく筋肉を効率よく強化するトレーニング法を研究し、多くの人に伝えている。「使える筋肉をつける」が特に必要となるのは中高年。家庭で手軽にできる筋肉体操で人生110年時代へ備えよう。

10/7
(火)

NHK交響楽団
特別コンサートマスター
篠崎 史紀

まろの音楽人生

NHK交響楽団特別コンサートマスター、九州交響楽団ミュージック・アドバイザー。愛称は「まろ」。小学生の時、浮世絵に描かれた役者に似ていたことをきっかけにそう呼ばれていたが今では世界の「まろ」となった。ウイーン市立音楽院に入学後ヨーロッパを中心に活動。群馬交響楽団、読売日本交響楽団のコンサートマスターを経て1997年N響コンサートマスターに就任。2024年、絵本「おんがくは まほう」(絵:村尾巨)及びエッセイ「音楽が人智を超える瞬間」が刊行された。

3/15
(土)

玉川 徹

日本一有名な平社員の作られ方

テレビ朝日系列のワイドショーに「テレビ朝日社員」の肩書で登場するや、何人にもそんなくない発言が注目を集めた。時には発言が権力側を刺激して厳しい批判にさらされるが、羽鳥慎一との絶妙のコンビネーションが「攻めの玉川」「守りの羽鳥」として視聴者に支持されている。定年退職したのちも、日本の朝の顔としてコメンテーターを続けるほか、ラジオなど新たな分野に活動を広げている。

7/15
(火)

作家
帚木 蓬生

昼の部：生きる力森田正馬の15の提案
夜の部：「老活」の愉しみ

福岡県生まれ。明善高校、東京大学を出てTBSに入社したが、2年で退社。九大医学部に学び、精神科医をしながら作家生活に入る。『閉鎖病棟』(山本周五郎賞)など話題作を次々と発表。精神科医森田正馬が考案した森田療法の解説、普及に尽力。最近は豊かな老後を送るための「老活」にも注目。老活で心と体を100歳まで活躍させよう、と訴えている。

11/11
(火)

古生物学者
北海道大学総合博物館 教授
小林 快次

恐竜研究最前線 in 2025: 恐竜からのメッセージ

「ダイナソー(恐竜)小林」の愛称で知られる。モンゴル・ゴビ砂漠の巨大な手を持つ謎の恐竜「デイノケイルス」や、北海道の「むかわ竜=カムイサウルス」の全身骨格など、国内外で新種を発見発掘し「ファルコンアイ(ハヤブサの目)」の異名を持つ。恐竜ブームの強力な牽引者。また、地球上で起きた生物の大量絶滅の6回目が、人類を原因として現在進行中だと警鐘を鳴らす。「恐竜まみれ 発掘現場は今日も命がけ」など著書多数。

4/13
(日)

東京大学 先端科学
技術研究センター 准教授
小泉 悠

ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障

早稲田大学大学院修了後、ロシアの軍事についての研究を志したが、ふざかしい研究機関はなくやむなく民間会社に就職。1年足らずで辞め、フリーで発表した論文を認めてくれた人のついでにロシアに留学。ロシアの軍事研究一筋、東京大学の研究者に。「帝国」ロシアの地政学でサントリー学芸賞受賞。ロシア・ウクライナ戦争の背景や見通しをぜひ聞きたい。

8/7
(木)

講演 小泉 凡
朗読 佐野 史郎
音楽 山本 恭司

小泉八雲 朗読のしらべ

朗読を務める佐野史郎といえどもマザコン男「冬彦さん」を思い浮かべる人も多いだろうが、その演技は多面性を内に秘めて秀逸。故郷松江を愛した小泉八雲作品の朗読パフォーマンスは高校時代の同級生ロックギタリスト山本恭司と共演。おりしも2025年秋のNHK朝ドラのモデルは八雲の妻の小泉セツ。八雲の曾孫小泉凡の講演とともに幻想の世界にいきなってくれるだろう。

12/9
(火)

太鼓奏者
林 英哲

彼方からの呼び声～英哲太鼓の世界～

太鼓奏者／作曲・演出家。1971年、太鼓集団発足に参加。1982年、太鼓独奏者として活動開始。1984年、和太鼓協奏曲ソリストとして、米カーネギーホール・デビュー。2000年、ドイツ・ワルトビューネでベルリン・フィルと共演。2020年、NHK大河ドラマ「麒麟が来る」テーマ曲、劇中音楽に参加。芸術選奨文部大臣賞、福岡アジア文化賞大賞、旭日小綬章ほか受賞(受章)。東京藝術大学客員教授など歴任。

九州市民大学・その他の活動 月1回の講演会の他にも、野外での活動や特別講座など、様々なイベントを企画しております。

野外研修 自然と、ふれあい文化を知る。

受講生同士の親睦の場として、日帰りや宿泊の野外研修旅行を企画しています。文化と自然に親しみながら、和気あいあいとした雰囲気のなかで交流が深まっています。

特別講座 より深く、より楽しく。知れば知るほど、もっと知りたくなる。

地元の講師を囲み、少人数で交流を図りながら「地元の歴史や文化をもっと知ろう」と計画するものです。九州市民大学ならではのテーマで探求します。

集中講義 スクール形式で、深く学ぶ。

定例講演会とは異なり、ひとつのテーマを深く掘り下げ、大学の授業に準じた集中講義を行います。